

H-3 地球環境保全に関する土地利用・被覆変化研究

(2) 地理情報システムを用いたアジア・太平洋地域における土地利用・被覆データのスクーリング手法の開発

③ タイにおける土地利用被覆データセットの開発

研究代表者 国立環境研究所水圏環境部 大坪国順

エコフロンティアフェロー タイ コンケン大学 ベラポン・サエンジャン

平成8～9年度合計予算額 3,980千円

(平成9年度予算額: 1,990千円)

[要旨]

本研究はタイにおける土地利用・被覆変化の将来予測シミュレーションに必要な人文科学的及び自然科学的データセットの構築と 2050 年までのタイの土地利用変化の予測を目指したものである。

LU/GEC 基本モデルをタイに適用するために、タイのディストリクトレベルを単位としてデータ収集を試みたが、一部データを除いてデータがほとんど整備されていないことが明らかになった。次に、1つ上の州 (province) レベルを単位としてデータの収集を試みたが、1970 年代のデータは入手できない項目が多かった。よって LU/GEC 基本モデル (LU/GEC- I) をタイに適用するのは困難と判断した。

タイの4つの地方、北東部、北部、中央部、南部を単位とするデータは一応揃っているので、この4つの地方に対して LU/GEC- II (GKSIM) モデルの適用を試みた。

タイの4つの地方における過去 30 年間の土地利用・被覆変化を鳥瞰し、それを参考にしつつ4つの地方毎に LU/GEC- II の適用、計算結果及びモデルの今後の課題について整理した。詳細については、-アジア・太平洋地域の土地利用・被覆変化の長期予測 (Ⅲ)-を参照のこと。

[キーワード] 土地利用変化、被覆変化、将来予測、モデル、タイ

[国際共同研究等の状況] LU/GEC プロジェクトは IGBP/IHDP-LUCC の related project の位置付けであるが、現在 Focus3 の Contributing Project に Apply することを進められている。

[研究成果の発表状況]

なし (投稿を検討中)